

あの人この人

機織りではた ボランティア活動



機を織る宇田加代子さん

宇田加代子さん（小神明町）

自宅で機織り教室を開いている方が居られると聞き訪ねてみました。宇田加代子さんです。家の中は所狭しと機織り機9台が置かれていました。今では機織りをされる方が少なくなり、引退される方からの引き取り依頼を受けてきた結果とのことでした。

宇田さんは小神明町で生まれ、結婚を機に前橋を離れ伊勢崎市へ移り住みました。2人の子育てに追われるいっぽう、社会の中での交流が増えていきました。何事にも相手に合わせようとする性格のためか、人と付き合うことにストレスを感じるようになり、精神的に疲れていきました。次第に交友関係が少なくなる、そんな自分を変えたい、もつと精神的に強くなりたい、何か生きがいを見つけないか、そのためには何に

でも挑戦してみよう！気持ち切り替えた後は、居合道・剣道（初段）・弓道（4段）・乗馬などに取組み、そして機織りと出会うことになりました。

伊勢崎市の広報誌に「小学生へ機織りを教えるボランティア指導員募集」の記事を見つけた事でした。早速応募し指導要領を学んだ後、ボランティア指導員「織りの会」の第1期生（30人）としての活動が始まりました。市では小学生3年生の課外授業として「機織り」の実技体験を取り入れています。そして、毎年2000人の子供たちが「織りの会」の指導を受けています。生徒たちは全員が機織り機を操作して、経糸と緯糸を操り、自分のコースターを織り上げる。「伊勢崎銘仙」として有名な絹織物の産地ならではの体験授業です。宇田さんは、このボランティア活動を続けながら、個人の機織り技術のレベルアップを図っていきました。「絹の里」で学び、高度な技術を持つ人の個人指導を受けました。

子供2人を育て上げた後、5年前に故郷の小神明町に家を建て、同時に「機織り教室」と「和裁教室」を始めました。今では前橋でもボランティア活動を始め、「県民の日」に児童文化センターで行われる「無料の機織り教室」に機織り機を持ち込んで教えています。そして伊勢崎での小学生を指導する活動も続け、今年で16年目となりました。「昔の生徒が成長し、引率の先生となって現れた時には本当に感動しました」と、明るく笑顔で語ってくれました。もつともつとボランティア活動を続けたい。その目はキラキラと輝いていました。

文責 小神明町生涯学習奨励員 牧野 進

前橋市立図書館芳賀分館だより

あたりしく入った本の紹介

一般書

著者名

蝶のゆくへ

葉室 麟

日傘を差す女

伊集院 静

スケルトン・キー

道尾 秀介

歪んだ波紋

塩田 武士

襲来 上・下

帯木 蓬生

ふたりぐらし

桜木 紫乃

鏡の背面

篠田 節子

悪玉伝

朝井 まかて

ツキマトウ

真梨 幸子

児童書・絵本

わけあって絶滅しました。

昆虫最強王図鑑

かいけつゾロリのドラゴンたいじ2

いいまちがいちゃん

京都和のなぞなぞ絵本

かわいいおかし

いたずらひつじとおおかみのけがわ

くほかにもたくさん新刊が入りました

★毎週木曜日は休館日です。

◆市立図書館、こども図書館、各分館で所蔵する本やCD等は、どこの館でも借りたり返したりすることが出来ます。

◆各分館に利用者開放端末機（OPAC）が設置されております。本館・分館・こども図書館の所蔵資料の検索などが出来ます。